多治見市

強盗想定、対応を確認

東濃信金支店で防犯訓練

強盗を想定して行われた防犯訓練＝多治見市若松町、東濃信用金庫若松町支店

多治見市若松町の東濃信用金庫若松町支店で10日、銀行強盗を想定した防犯訓練が行われ、職員15人が非常時の対応を確認した。

年末を控え、同金庫の市内の支店で毎年持ち回りで開催し、多治見署が協力。署員2人が強盗に扮し、銃を持って職員を人質に取り、現金を奪って逃走という想定で実施。

職員は非常通報をしたほか、犯人の人相や服装をシートに書き込むなど迅速に対応。訓練後、署員から「車はナンバー以外にもメーカーや車種も記憶して。犯人の遺留物や歩いたり触ったりした場所もそのまま保存しておいて」とアドバイスがあった。(松尾法尋)

無断複製・転載を禁じます